６月議会 『全小中学校にエアコン設置を』全会一致で採択

市民や子どもの長年の願いが一歩前進し、市民の陳情がようやく一部採択されました。。

画期的成果を活かし、今こそ実現を

６月議会に審査される請願・陳情７本中、４本がおおたかの森地区の小中学校併設校建設計画に関係する内容です。

７月３日、議会最終日。市民が提出した陳情（項目①全小中学校で併設校建設計画の説明会開催、②説明会場となる学校の今後の改善策を説明すること、③教室へのエアコン設置）では項目別の採択となり、③教室へのエアコン設置が全会一致で採択されました。

市民の運動が勝ち取った画期的な成果です。市議会全体の要請（※）に続き、陳情項目の全会一致による採択…あとは市長の決断です。今こそ実現へ動く市政かどうか…鋭く問われています。

※市議会では、『全小中学校全教室へのエアコン設置』を、今年３月議会予算審査特別委員会『議会全体の合意 指摘要望事項』として市長へ提出しています。

小中併設校建設（１３４．８億円）のために心電図健診を大幅削減？

一方、市民周知や財政、他施策とのバランスを無視して、市長が「優先」する小中併設校。『広報ながれやま』（３月１日）で公表された総事業費１２４億４千万円は、１３４億８千万円（10億４千万円増）となっています。

その影響からか、『特定健診充実事業』は３年間で、３０００万円から１５００万円へ半減。今年の特定健診では、心電図検査が受けられない人が続出しています。これも「優先」というなら、市民の『命』と市政への信頼という『心』をも削ったことになります。

新設校を望む保護者も市民もアンバランスな市政を望んでいるのでしょうか。今の子どもや市民も、将来本市に移り住む市民も大事にできる市政運営をご一緒に作りましょう。

「開発者の応分の負担」は当たり前!!

本市同様に、鉄道新設とあわせ新しい街づくりをＵＲ都市機構が実施している大阪府箕面市では、小中一貫校が開校(Ｈ２４年４月)。用地３万４千㎡の２分の１をＵＲ都市機構が負担。兵庫県尼崎市でも学校用地の４分の３をＵＲが負担しています。これは国の『協定』に規定しています。

本市の場合、『協定』を使い坪単価を３万円引き下げただけで約３億６千万円も節約。規模も内容も変更せずにできる節約をなぜしないのでしょうか？？？

市議会議員
小田桐たかし
政党名は選挙期間中のため掲載を取りやめています

流山民報（号外）　発行：　小田桐事務所連絡先：７１５４－８２５３　携帯０９０－８５６７－８８５８

中部地域のまちづくり

安心して住み続けられるルール作りを

十太夫地域 マンション紛争

工事被害の減少へ、工事協定締結を

今年は、おおたかの森駅が開通して８年目。区画整理事業がスタートして１４年目。地域住民は、平日の朝～夕方まで工事騒音、振動、粉じんの中での生活です。コロコロ変わる道路に苦労し、特に森林の伐採音は、「悲鳴みたい」と声が漏れるほど、深く心に刺さ

そんな中で起こった十太夫地域のマンション紛争。まだ近隣住宅が少ないからと、事業者だけの意向が強く働くようでは共存共栄はできません。

小田桐市議は工事協定締結にむけ、「工事終了を原則午後５時まで（工事内容による時間延長の特例付）とした工事協定で、住民も事業者も歩み寄った協議を」と提案。「事業者は第１回流山市景観賞を受賞しており、賞に泥を塗るようなことがないように」と行政指導の強化を求めました。

郵便局本局の駐車場入口は車の出入りが絶えません。朝夕の渋滞解消も切実です。

郵便本局前通り

速度規制、信号機設置…住民・行政・警察等で協議会設置を

おおたかの森駅前から江戸川台西口・東深井地域をつなぐ新設道路（東深井市野谷線）。交通量の増加で「渡りきれない」「危ない」という声が絶えません。

小田桐議員は、自治会役員や住民から寄せられた声をもとに６月議会で質問。市当局は「警察との現場立会いや協議を継続中。郵便局本局前信号機設置・速度変更の要望を重ねている」と回答しました。

小田桐市議は、新設道路の完成前と完成後で利用状況の激変、地域毎の速度規制の違い、真っ直ぐな道路形状でスピードを出してしまうドライバーの心理を勘案し、行政・警察だけでなく、沿道自治会・学校も含めた協議会設置を提案しました。

十太夫地域の新築マンション工事。建設後の地域コミュニティも見据えた事業計画が求められています。